

# 31. 現場力を高める IE 手法 II

## 「標準時間設定の最強ツール MOST で企業競争力強化」

標準時間の設定法としてタイムスタディーがあります。しかしこの手法は測定者の熟練度と経験に左右されます。そこで開発されたのが PTS(既定時間標準)法です。DWF,MTM 等の考え方がありますが、現在最強の手法《Basic・MOST》の考え方と使い方を演習を通して習得していただきます。より効率の良い工程設計や改善、原価計算や、生産管理に標準時間は極めて重要です。その標準時間の設定方法として世界レベルで認められている MOST (Maynard Operation Sequence Technique) について、時間測定を中心とした演習でその優位性を理解していただきます。

**Point!**  
● MOST の世界レベル標準時間設定と優位性を演習で理解する。



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
参加費：MRO 賛助会員 6,000 円 (一般：12,000 円)  
会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110  
募集人員：15 名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程 (2 日間コース)

研修内容

|                          |   |   |  |
|--------------------------|---|---|--|
| 11/10(金)<br>9:00 ~ 16:30 | I. 標準時間の設定方法<br>①標準時間設定の流れ<br>②標準時間の定義<br>③標準時間とは | II. 標準時間の考え方<br>①標準時間<br>②標準時間の必要性                            | III. 動作研究<br>①時間に関する 3 分類<br>②分析手順<br>③時間研究とは<br>④時間研究の狙い<br>⑤時間研究の補正<br>⑥時間研究の方法・視点 |
| 11/17(金)<br>9:00 ~ 16:30 | IV. レーティングの実際<br>V. 標準化の進め方<br>VI. PTS 法 _MOST    | ★動画を見てレーティング値を検討<br>①ミニ MOST について<br>・三つのシーケンス<br>★MOST 計算に挑戦 |  |

\* 講師プロフィール

高橋智昭 (MRO コーディネーター) 工学院大学 (電子工学科) 卒  
経歴：電気・音響業界 カメラ業界 自動車部品業界等を経験、最後は化粧品業界、生産技術一筋です。(営業経験はあります)  
日本能率協会認定の CPE-ME を取得

● HP から直接お申し込みができます



受講料について

- 受講後に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間前までは請求致しません。1 週間以内の場合は全額を請求いたします。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段でお願いします。 注) 1 週間：MRO (当財団) の 6 勤務日前 17 時までとします。

●問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 tel : 0276-50-2100, fax : 0276-50-2110  
E-Mail : mrokenshu(at)mro.or.jp ※(at) を @ に変えて送信してください。

### 31. 現場力を高める IE 手法 II 「標準時間設定の最強ツール MOST で企業競争力強化」受講申込書

|              |      |        |
|--------------|------|--------|
| ご芳名 (ふりがな) : | 所属   | 役職     |
| ご芳名 (ふりがな) : | 所属   | 役職     |
| 会社名          | 住所 〒 |        |
| TEL          | FAX  | E-Mail |